opusdei.org

年間第8週・月曜日 64. 金持ちの青年

一神は全ての人を招く。キリストに従うためには離脱が必要。一個人的な召し出しに応える。一日常生活における私たちの清貧と離脱。

2024/05/27

年間第8週・月曜日

64. 金持ちの青年

一神は全ての人を招く。キリストに 従うためには離脱が必要。

- 一個人的な召し出しに応える。
- 一 日常生活における私たちの清貧と 離脱。

64.1 神はすべての人を招く。キリストに従うなら、地上的なものから離脱しなければならない

ミサの福音」は、イエスが1つの町を去って他の町に行く途中、100円の大力に行く途中、1位の町に行く途中、1位の町に行く途中、1位の町の大力に立てはよりより、イエスが1つの町の大力には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の地域には、1位の町域には、1位の両域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域には、1位の域は、1位の域は、1位の域はは、1位の域は

す。若者はひざまずいていました。 それは率直な会話でした。主はいつ もの言葉で答え始めました。「あな たは掟を知っている、その項目をあ げてみなさい」。「殺すな、姦淫す るな、盗むな、…| 若者は答えまし た。「そういうことは皆、守ってき ました。まだ何か欠けているでしょ うか」²。誰でもこのように、自分 自身に問いかけたことがあるはずで す。実行していることは良いことで あるにもかかわらず、心を満たすこ とのできない状態です。この心の渇 きを満たすことができないままに、 人生が過ぎていきます。キリストは 一人ひとりに唯一の価値ある答えを もっておられます。

イエスはその若者の寛大な心、自己 を与える素晴らしい能力があること はわかっておられました。だからこ そ、イエスは彼を特別の愛で愛情深 く見て、何にも執着しないで、無条 件に従うように招かれたのです。キ

リストだけが見ることのできるやり 方で霊魂の深みまで見つめながら、 彼を見つめてそこに立っておられま した。「イエスは一人ひとりを愛深 く見つめられます。福音書はいつも この点を確認しています。キリスト のこの『愛に満ちた眼差し』には、 いわば、良い知らせすべての概要と 総括があるということもできます。 人はこの愛に満ちた眼差しを必要と します。人は『永遠に』愛されてい ることを、特に、永遠から選ばれて いることを知る必要があります。 (エフェソ1・4参照) 同時に、神が 自分を選んでくださったというこの 永遠の愛は、ちょうどキリストの愛 の眼差しがここで行ったように、生 涯、人間に伴うものとなるのです!

涯、人間に伴うものとなるのです」 ³。神はこのようにして今もいつ も、深い愛、特別な愛で、私たちを ご覧になっています。

主は優しく言われました。「あなた には1つのことが欠けている。ただ

1つ! | その若者はどんなことを期 待して主の答えを待っていたので しょうか!疑いもなく、それは彼の 全生涯で聞いた中で最も重要な答え でした。「行って持ち物をみな売り 払い、貧しい人々に施し、…来て、 私に従いなさい」。それは、自分を 主に完全に与えるようにという招き でした。その若者は予期していませ んでした。神の計画は、私たちのも の、私たちの考えで作り上げるも の、私たちの夢といつも一致すると は限りません。神の計画は、様々な 意味で、鎖で繋がれているすべての ものからの離脱を、常に要求しま す。キリストに従えば、霊魂は自由 になるに違いありません。若者の多 くの財産は、彼の生涯で最大の要求 と言えるイエスの要求に応じるため に大きな障害になりました。

神はすべての人を招かれます。病人も健康な人も、秀でた才能を持つ人もわずかな能力しかない人も、富め

る人も貧しい人も、若い人も、れぞれの人も。それぞ別な、れる特別では、ない人も、神が彼らずでは、っている。ないのでは、でないのでは、できるというでは、ましたがある。ないでは、ましたがある。ないでは、ましたがある。ないでは、ましたがある。ないでは、まないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ましたが、ましたが、ましたが、はいるでは、はいるでは、はいるでは、はいるでは、はいるでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、まれば、というでは、まれば、いいのでは、いいのでは、まれば、いいのでは、まれば、いいのでは、まれば、いいのでは、まれば、いいのでは、いいのでは、まれば、いいのではないのでは、いいのではないのでは、いいのではないのではないのではないのではないではないのではないいいいのではないいのではないいいいのではないではないいいのではないいい

この若者は、すぐに自分の召命に気 づきました。それは完全な献身へ会 呼びかけでした。イエスとの出を は、人生の意味と根本エスの前 は、これは本当にイエスに従っ 構えがあったばないが明らかで は、たので、神の意志を果たしていたと考えていたのでした。キリス トが完全に奉献するように彼を招いた時、彼は所有物へのあまりにも頑なな愛着と神の意志に対する条件付きの愛を表したのです。ところで、今日でもこれと同じ光景が繰り返されています。

「あなたのあの友だちは、たびたび 秘跡(ひせき)を受け、清い生活を送 り、よく勉強する人だと言う。しか し、〈応じない〉。犠牲や使徒職の 話をすると、悲しそうな顔をして、 あなたから離れてしまう。心配する な。あなたの熱意が無駄になったの ではない。福音書の場面が文字通り 繰り返されただけだ。イエスは仰(お お)せられた。『もし完全になりたい ならば、あなたの持ち物を売り、貧 しい人々に施(ほどこ)しなさい』 (犠牲)。『それから、私について きなさい』(使徒職) | ⁴。

若者は悲しそうに去って行きました。なぜなら、真の幸福は、寛大さ

と離脱があるときにだけ可能だれるときにだけ可能でれるです。進んで神の意志を受け入ちない人生は喜びに満極をしたとの中や生活のをといるなことの中や生活のももいとないとないともないという。というという。というに自らさいという。というに自らはないです。

「主よ、私は生涯において、あなた を探し求め、あなたを愛し、あなた に仕えることのほかは何も望みませ ん。それ以外の人生の目的もその目 標に向けて方向づけられています。 私をあなたから引き離すものを、イ はや何もほしくありません」。も はや何もほしくありません」まま なっ会話で私たちはこう語ります。

64.2 召命への応え

若者の悲しみを見ると考えさせられ ます。多くの所有物があること、こ の世の多くの富を所有することは幸 福をもたらすことができると考えた くなります。ところが、福音の中の 若者の場合、その所有物は、イエス の呼びかけを受け入れ、従うための 障害になったことがわかります。イ エスに喜んで「はい」、自分に 「ノー」と言い、愛に「はい」、逃 避に「ノー」と言う覚悟ができてい ませんでした。真の愛は要求しま す。というのは、「わたしの命じる ことを行うならば、あなたがたはわ たしの友である」(ヨハネ15・14) と言われたのはイエス、私たちのイ エスご自身だからです。愛は神の意 志に対する努力と個人的な献身を要 求します。それは鍛錬と犠牲を意味 しますが、喜びと人間的成就をも意 味します。心を福音書に描かれたキ リストに開きなさい。その愛と真理 と喜びに、悲しんで立ち去ってはい けません!5

神の近くで従うようにという呼びか けは、いつも肯定的な応えを要求し ます。なぜなら、多くの呼びかけの 中で、イエスは生涯にわたる素直で 寛大な一致を求めておられます。 従って、私たちは、見知らぬ者とし てではなく、度々、神のみ前に面と 向かって立つべきです。そして、若 者がしたようにイエスに聞きます。 「まだ何か欠けていますか?」 キリ スト者の召命は、私の境遇の中で、 何を要求しているでしょうか? 従う ためにどの道をお望みですか? 誠実 になりましょう。神を見出したいと 本当に思う者は誰でも、神に至る道 をはっきりと知ることができるで しょう。「キリスト者は、日常生活 の中で、どのように自分の召し出し が平凡な日々の中に神の激励と霊感 で織り成されているか、意義のある 瞬間、つまり多かれ少なかれ人間社 会での什事を神の愛のために果たす という特別の呼びかけがあることに 気づくでしょう。神との対話を続け

る中で、人は、明確で徹底的な決意をするように求める神の声を聞くこかし、神の言葉は、ハリたに届くはずです。(1列王記19・22)」 $\frac{6}{}$ 。しかし、神の言葉に従から自由になるべきです。キリストでもはすることだけが大事なのすればなれません。

64.3 毎日の生活における清貧と離脱

「福音書の若者は、主の眼差しと愛に満ちた生活への招きを避けて立ち上がりました。そして悲しそうな顔で立ち去りました。そこにいた人は皆、若者の悲しみに満ちた表情(顔)に気づきました。私たちは直感的に若者の『NO』が決定的な『NO』であったことを察します」⁷。主は若者が去っていくのをご覧

になって悲しみを覚えられました。 聖霊が告げるところによると、若者 が悲しそうに去っていったのは、恩 恵を拒んだからなのです。若者はた くさんの物を持ち、非常に愛着を持 ち、それにかなり執着していたので す。

この出来事の後、弟子たちは旅を続 けました。ちょうど出発しようとし ていた矢先、イエスはまわりを見ま わし、弟子たちに言われました。 「金持ちが神の国に入るのは何とむ ずかしいことだろう!| 弟子たちは イエスの言葉に驚きました。主は、 さらにもっと力強く、「金持ちが天 国に入るより、らくだが針の穴を通 る方がずっとやさしい」と繰り返さ れました。私たちはイエスの教えに 注目し、自分の生活を当てはめてみ るべきです。物質的な豊かさへの愛 着と神の傍に従うことを意味する神 への愛とは両立しません。この2つ の愛は、同じ心の中では共存するこ

とはできないのです。人は自分が的、最終目分が的なものを、最終目的なものを、最終目的なものをの手段にあるの手段にある。物質は、できまなのです。のできまないできまないできまない。一般では、大きないのではないできない。一般では、大きないのです。では、大きないです。できるのです。

今日は勇気を持って祈りの親しさの 内に糾明する良い機会が与えられています。行いの真の動機は何でるのもとのからない。 か?私たちの心はどこのある本の当か?地上的なものからなもの当れている。 離脱したでしみますか?度々己がないでも 社会の広告に刺激されて、足りないでは と安易さへの最も取るに足いないが と安易して素早く反応していないが しょうか?個人的に必要な物を節約

していますか? 自分の贅沢を抑制し ていますか? 取るに足りない不必要 な買い物を避けていますか? 私たち はよく偽りの必需品を作り上げます が、もし私たちがそうしたいと望 み、簡単に私たちの貪欲さを誘う気 まぐれやむら気に屈服しないように 全力を尽くす決心をするなら、それ 無しでも済ませることができるで しょう。家庭にある物や使っている 道具や所有物を本当に大切にしてい ますか? 私はこれらの管理をしてい るに過ぎず、いつかは真の所有者で ある神、私たちの主に、弁明をしな ければならないというはっきりした 認識を持っていますか? 自分に不都 合なことは何でも、また思い通りに なる手段に欠けることを朗らかに受 け入れますか? とても困っている 人々に寛大な施しをしますか? 持ち たいと思う物を自ら拒んで、良い大 儀を支持するために貢献しますか? もし世俗の真っ只中で主の弟子であ ろうとするなら、このようにしての

み、私たちは喜びと自由をもって生 きるでしょう。

私たちの最高の理想は、キリストの間近で従うことです。私たちは若者がしたように立ち去りたいとは思いません。若者の心は悲しみに満ちていました。イエス・キリストの限りない豊かさと引き換えに、殆ど価値のない、いくつかの持ち物を放棄することができなかったからです。

(フランシスコ・フェルナンデス・ カルバハル『神との対話』)

¹マルコ10:17-27

²マタイ19:20

³ 聖ヨハネ・パウロII世, Letter to young people, 3 1 March 1985, 7

- ⁴ 聖ホセマリア・エスクリバー, 『道』, 807
- ⁵ 聖ヨハネ・パウロII世,Homily, Boston Common, 1 October 197 9
- ⁶ P.Rodriguez, Faith and Life of faith
- $\frac{7}{2}$ R.A.Knox, A Retreal for Lay People, Sheed & Ward, London 1 9 9 5, p. 9 5

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-VIII-getsu/ (2025/12/14)